

Personal icing system CRYO-2

取扱説明書



一般医療機器 類別：器 12 理学診療用器具
一般的名称：冷却バック装置 (JMDNJ-ド:36034000)
医療機器届出番号 29B2X10008FLX130

[内容]

| | |
|---------------------------------|--------|
| 1. 安全上のご注意 | |
| 禁忌・禁止 / 警告 / 注意 | 1 ページ |
| 2. 電磁干渉について | 3 ページ |
| 3. 本機の説明 | 5 ページ |
| 各部の名称 / 操作パネル / 準備 / 操作マニュアル | |
| 4. お手入れとメンテナンス | 7 ページ |
| 5. 適応 | 7 ページ |
| 6. 技術仕様 | 7 ページ |
| 7. CRYO-2 バリエーションおよびオプション | 8 ページ |
| 8. よくある質問 | 9 ページ |
| 9. 故障かなと思ったら | 9 ページ |
| 10. 保証書 | 10 ページ |

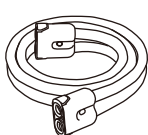
CRYO-2システムは、捻挫・(筋肉の)張り・打撲などのスポーツ傷害や術後の回復治療を補完するために設計されています。本説明書をすべてお読みいただき、いつでも参照できるように保管してください。また、本説明書に記載されているすべての警告や説明に従ってご使用ください。

◆内容物

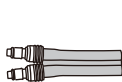
●ポンプ・ユニット



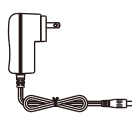
●接続ホース※



●排水ホース※



●AC アダプター



●電池ボックス
(電池は付属しません)



●シユアフロー
カフ装着方法

●取扱説明書
(保証書付き)




●添付文書

※ポンプ・ユニットポケット内に収納しています


1. 安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

| | |
|--|------------------------------------|
|  禁忌・禁止 | 「死亡や重傷を負うおそれが大きいため、実施してはいけない内容」です。 |
|  警告 | 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。 |
|  注意 | 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

| | |
|---|------|
|  | 禁忌事項 |
|  | 遵守事項 |







禁忌・禁止

以下の症状のある(または疑いのある)患者には使用しないこと。




1. レイノー病(症候群)、他の血管痙攣性疾患
2. 急性血栓症
3. 急性肺水腫
4. 鬱血性心不全
5. 深部静脈血栓症
6. 重度の血行障害
7. 有痛性青肢腫
8. 化膿性静脈炎
9. 冷えに対する過敏症
10. 局所の血液循環不良
11. 四肢が無感覚
12. 装着部位に極度の変形を有する患者
13. その他医師が本品を使用することが適切でないと判断した患者
14. 冷却パッドを創傷に直接当てないこと

警告

シユアフローカフについて

| | |
|--|--|
|  | カフは滅菌されていないため、傷口などに直接取り付けない 化膿や感染症の原因となります。 |
|  | 治療に必要な時間を超えて使用しない 凍傷、血行障害、神経障害を引き起こす恐れがあります。 |
|  | 就寝時に使用しない そのまま寝てしまうと、凍傷、血行障害、神経障害を引き起こす恐れがあります。 |
|  | 子どもだけで使用させない 凍傷、血行障害、神経障害を引き起こす恐れがあります。 |
|  | カフは基本的にシングルベジエントユース(患者ひとりへの使用)です。もし複数名で使用の場合は衣服の上から装着する クロスコンタミネーション(相互汚染)の原因となります。 |
|  | 冷水によって冷やすことで、不快感があれば、すぐに使用を中止する 凍傷、血行障害、神経障害を引き起こす恐れがあります。 |

ポンプ・ユニットについて

| | |
|--|--|
|  | 分解や改造を行わない 火災や感電、故障、誤作動の原因になります。内部の点検・整備・修理は販売店あるいは当社修理ご相談窓口にて依頼してください。 |
|  | 本体周辺での携帯機器、無線機器、電気メス、除細動器等、高周波を発生する機器、その他の医療機器等を近づけない。また、これらの機器とは別系統の電源を使用する 本体及び上記の機器に誤作動が生じるおそれがあります。 |
|  | 5℃～20℃の冷水以外は使用しない やけどや凍傷の原因となります。 |

| | |
|---|--|
| ○ | <p>以下のような状態のまま使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードやプラグが破損したり壊れた場合 ・本機が水で濡れた場合 ・本機外側のプラスチック部分が壊れた場合 ・ポンプが通常通り作動しない場合 ・連続で作動させた場合 ・異音がかかる場合 ・性能が低下した場合 <p>火災や感電、故障、誤作動の原因となります。すぐに電源を切ってプラグを抜き販売店あるいは当社修理ご相談窓口へ修理・点検を依頼してください。</p> |
| ○ | <p>布やシーツをかけたたり、箱で覆ったりして使用しない</p> <p>本体の熱が逃げず、本体の機能が発揮されなかつたり、火災や故障、誤作動の原因になります。</p> |
| ○ | <p>以下の場所では使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風呂場や脱衣場など温度の高い場所では使用しない ・調理台や加湿器のそばには置かない ・雨や雪などがかかるところで使用しない <p>火災や感電、故障、誤作動の原因になります。</p> |
| ○ | <p>空気、酸素あるいは亜酸化窒素（麻酔薬）と混合した可燃性麻酔薬がある場所や化学薬品の保管場所やガスの発生する場所では使用しない</p> <p>火災の原因になります。</p> |
| ! | <p>ACアダプターはコンセントに根元まで確実に差し込む</p> <p>火災や感電の原因になります。</p> |
| ! | <p>使用していない時、または水や水を追加・排水する前には電源を切り AC アダプターをコンセントから外す</p> <p>感電、故障、誤作動の原因になります。</p> |

サーマルブローベ（オプション品）について

| | |
|---|--|
| ○ | <p>一点に集中して使用しない</p> <p>凍傷、血行障害、神経障害等を引き起こす恐れがあります。</p> |
|---|--|

電池ボックスについて

| | |
|---|---|
| ○ | <p>異臭や発熱、ひずみ、変色などの異変に気づいたら使用を続けない</p> <p>発熱や破裂、発火の原因となります。</p> |
| ○ | <p>分解、改造しない</p> <p>発熱や発火、感電の原因となります。</p> |
| ○ | <p>電池を電池の中に入れたり、火のそばや炎天下などに放置しない</p> <p>電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</p> |



注意

シュアフローカフについて

| | |
|---|--|
| ○ | <p>損傷・変形等がある場合は使用しない</p> <p>故障や水漏れの原因となります。</p> |
| ○ | <p>カフは他の機器には使用しない</p> <p>故障の原因となります。</p> |
| ○ | <p>カフを分解や改造、修理をしない</p> <p>故障の原因となります。</p> |
| ○ | <p>パッド部に鋭利なものや高熱のものを接触させない</p> <p>水漏れ等の破損の原因となります。</p> |
| ! | <p>使用前・使用中・使用後に水漏れを確認し、漏れが発生した場合直ちに使用を停止する</p> |
| ! | <p>使用中に冷却によると思われる疼痛、しびれ、腫れ、傷、皮膚の変色、かゆみ、湿疹、発疹、かぶれなどの異変があった場合はただちに使用を中止し、適切な処置を行う</p> <p>血行障害や神経障害等を引き起こすおそれがあります。</p> |
| ! | <p>カフを部位に装着するにあたっては、裏表を必ず確認し、パッドが患部側に来るように装着する</p> <p>正しく機能しません。</p> |
| ! | <p>パッド部に折れ、ねじれ、つぶれが生じないように使用する</p> <p>循環不良が起こり、故障や誤作動の原因となります。</p> |

ポンプ・ユニットについて

| | |
|---|---|
| ○ | <p>損傷・変形等がある場合は使用しない</p> <p>水が漏れたり、故障や誤作動の原因となります。</p> |
| ○ | <p>タンクがカラの状態で使用しない</p> <p>ポンプが空回りして、故障や誤作動の原因となります。</p> |
| ○ | <p>タンクに水と氷以外を入れない</p> <p>循環不良をおこしたりポンプに必要な以上の負荷が掛かたりして、故障や誤作動の原因となります。</p> |
| ○ | <p>接続ホースを接続せずに使用しない</p> <p>水が漏れたり、故障や誤作動の原因となります。</p> |
| ○ | <p>不安定な場所や振動する場所に置かない</p> <p>本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。</p> |
| ○ | <p>本機を滅菌、消毒等しない</p> <p>変形・変色の原因となります。</p> |
| ○ | <p>パネル部に液体をこぼさない</p> <p>故障・感電の原因となります。</p> |
| ○ | <p>ACアダプターは付属のもの以外使用しない</p> <p>故障の原因となります。</p> |
| ○ | <p>電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを加工したり、無理に曲げたり、捻ったり、引っ張ったり、電源コードを熱器具に近づけたりしない</p> <p>火災や感電の原因になります。</p> |
| ○ | <p>濡れた手でコード類、スイッチ類の操作をしない</p> <p>故障・感電の原因になります。</p> |
| ! | <p>水平で安定した場所で使用する</p> <p>不適切に配置するとポンプが空回りして、故障や誤作動の原因となります。</p> |

| | |
|---|---|
| ! | 気圧、温度、湿度、日光、ほこり、塩分、イオウ分等を含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に設置する 変形、変色、故障の原因となることがあります。 |
| ! | 本機を移動させたりお手入れする場合、本体から接続ホースやACアダプターをはずす 設置された場所によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。 |
| ! | カフを外す際は必ず電源を切る 水がこぼれたり故障の原因となります。 |
| ! | 使用後は、必ずACアダプターをコンセントから抜く |
| ! | 落下、転倒等による衝撃が加わった場合は、使用を中止し、販売店あるいは当社修理ご相談窓口に連絡する 本体の機能が發揮されなかったり、火災や感電の原因になります。 |

電池ボックスについて

| | |
|---|--|
| ⊘ | 電池を火の中に入れてたり、火のそばや炎天下などに放置しない 電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 |
| ! | 以下のような間違った使い方をすると電池の液漏れの原因となります ・使用期限外の電池を使用する ・ショートさせたり、分解したり、加熱したりする ・プラスマイナスの方向を間違って使用する ・異なる品種、異なるメーカー、異なる銘柄、あるいは新旧の混用 |
| ! | 電池を交換する場合は、電池ボックスのスイッチを切る |
| ! | 使用後は電池ボックスのスイッチを切るか、本体から外す 電池消耗や液漏れの原因となります。 |
| ! | 乾電池を使用する場合、その使用頻度によらず最低でも1年に1度は新しいものと交換する |

接続ホースについて

| | |
|---|--|
| ⊘ | 鋭利なものや高熱のものを接触させない 水漏れ等の破損の原因となります。 |
| ! | 本体にホースを接続する場合は、コネクタをカチッと音がするまで押し込む 水漏れの原因となります。 |
| ! | 折れ、ねじれ、つぶれが生じないように使用する 循環不良が起こり、故障や誤作動の原因となります。 |

システム全般について

| | |
|---|---|
| ⊘ | ホースには、指定のカフやサーマルブローベ以外を接続しないでください 故障や誤作動の原因となります。 |
| ⊘ | 患部に装着したままや、濡れては困るものの周囲では、取り外し操作を行わない 使用後コネクタを外す際に、カフやホースから微量の水が漏れ出る場合があります。 |
| ! | 本品の性能の維持、安全性の確保のために、始業点検を必ず行うこと。トラブルや異常が認められた場合は、使用せず、販売店あるいは当社修理ご相談窓口に修理・点検を依頼してください |
| ! | 月に一回以上は手入れをする |
| ! | 長時間の装着や条件などによっては、結露する場合がありますので、漏れなどにご注意ください |
| ! | 保管の際は必ず電源プラグをコンセントから抜き、以下の場所に保管する ・水等の液体がかからない場所 ・傾斜、振動、衝撃のない安定した場所 ・気圧、温度、湿度、日光、ほこり、塩分、イオウ分等を含んだ空気により悪影響の生ずるおそれのない場所 なお、化学薬品の保管場所やガスの発生する場所には保管しないでください。 |

2. 電磁干渉について

本製品は、医療用電気機器のEMC規格 EN60601-1-2の試験を行い、これに準拠しています。この試験は、有害な電磁干渉に対して適切な保護を行うために意図されました。本製品は高周波エネルギーを発生・放射する可能性があります。正しく設置されないと、無線通信に干渉する可能性があります。もし、本製品が電磁干渉を引き起こしているなら、下記に記す方法のいずれか一つまたは複数を行うことで電磁干渉を是正してください。

- ・受信アンテナを正しい位置または場所に置きなおします
- ・機器と（ノイズを拾う）受信機の距離を確保します
- ・電磁干渉を拾う受信機が接続されているのとは異なる場所のコンセントに機器をつなげます
- ・機器製造会社に問い合わせます

◆EMC ガイダンスと申告について

本章に記載されているガイダンスと製造者のEMCについての申告は、本取扱説明書の巻末に記載されている一連の CRYO-2 のシステムに関してのものです。

◆EMC コンプライアンス

電磁環境両立性 (EMC) に関連する特別な予防措置は、すべての医療用電気機器に対して実施されなければなりません。本製品は IEC EN 60601-1-2:2007 に準拠しています。

- ・すべての医療用電気機器は本取扱説明書に記載されている EMC 情報に基づいて設置し、運用しなければなりません
- ・ポータブルおよびモバイル RF 通信機器は医療用電気機器の動作に影響することがあります。本製品のポンプ・ユニットは電磁妨害に関するすべての適用規格や必要な規定に準拠しています
- ・通常、近く、近くの装置や機器に影響を及ぼしません
- ・通常、近く、近くの装置や機器から影響を受けません
- ・高周波医用電気機器がある場所での本製品の使用は安全ではありません
- ・他の医療機器に極端に近い場所で本製品を使用することは避けてください

◆放射線電磁界エミッション

CYO-2 システムは、下記に述べる電磁環境の下で使用するようにできています。使用者は環境を確認して使用してください。

| エミッション試験 | 適合性 | 環境ガイダンス |
|-----------------------------|--------|--|
| RFエミッション CISPR 11 | グループ 1 | ポンプ・ユニットの放射妨害波は非常に低レベルで、障害発生を起こす可能性は低い |
| | クラス B | ポンプ・ユニットの使用対象者は医療従事者のみ |
| ハーモニックエミッション EN61000-3-2 | クラス B | 本製品が近接した他の機器に障害を及ぼす場合、機器の位置や場所の再設置を行う |
| 電圧変動、フリッカエミッション EN61000-3-3 | 準拠 | |

◆電磁環境適合性

CRYO-2 は以下に述べる電磁環境下で使用するようにできています。本製品を使用される際は下記を確認してください。

| 電磁環境試験 | 60601試験 | 適合性 | 環境指導 (試験環境) |
|---|---|---|---|
| 静電気放電イミュニティ IEC61000-4-2 | +/- 4kV Contact +/- 8kV Air | +/- 4kV Contact +/- 8kV Air | 床は木・コンクリート・セラミックタイルであるべきです。床が合成物質で覆われている場合は、相対湿度を少なくとも 30% にするべきです。 |
| 電気的高速過渡 / パーストイミュニティ IEC61000-4-4 | +/-2kV Power supply lines +/-1kV input output lines | +/-2kV Power supply lines +/-1kV input output lines | 主電源の品質は典型的な商用電源品質、または医療施設用電源品質であるべきです。 |
| サージイミュニティ IEC61000-4-5 | +/-2kV common mode +/-1kV differential mode | +/-2kV common mode +/-1kV differential mode | 主電源の品質は典型的な商用電源品質、または医療施設用電源品質であるべきです。 |
| 電圧ディップ / 瞬時停電イミュニティ 瞬停および電圧変動 IEC61000-4-11 | 30% Dip 25 Cycle 60% Dip 5 Cycle 100% Dip 0.5 Cycle 100% Dip 250 Cycle | 30% Dip 25 Cycle 60% Dip 5 Cycle > 95% Dip 0.5 Cycle > 95% Dip 250 Cycle | 主電源の品質は典型的な商用電源品質、または医療施設用電源品質であるべきです。 |

◆推奨される分離距離

| | | |
|-----------------------|-------|-------|
| 伝導イミュニティ IEC61000-4-6 | 3Vrms | 3Vrms |
| 放射イミュニティ IEC61000-4-3 | 3V/m | 3V/m |

| 定格出力 P (W) | 150kHz ~ 80MHz d=1.17√P (m) | 80MHz ~ 800MHz d=1.17√P (m) | 800MHz ~ 2.5GHz d=2.33√P (m) |
|------------|--------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|
| 0.01 | 0.12 | 0.12 | 0.23 |
| 0.1 | 0.37 | 0.37 | 0.74 |
| 1 | 1.17 | 1.17 | 2.33 |
| 10 | 3.7 | 3.7 | 7.4 |
| 100 | 11.7 | 11.7 | 23.3 |

本製品は短波干渉が制御されている電磁環境下において使用されることを前提としています。本製品を使用する場合、ポータブルあるいはモバイル短波通信機器 (送信機) と本製品とは、必要最小限の距離を取ることで (上記のような通信機器の出力に左右されますが)、電磁干渉をさけることができます。

上記の最大定格出力 P (W) を用いて下記の式に当てはめることによって決めることができます。

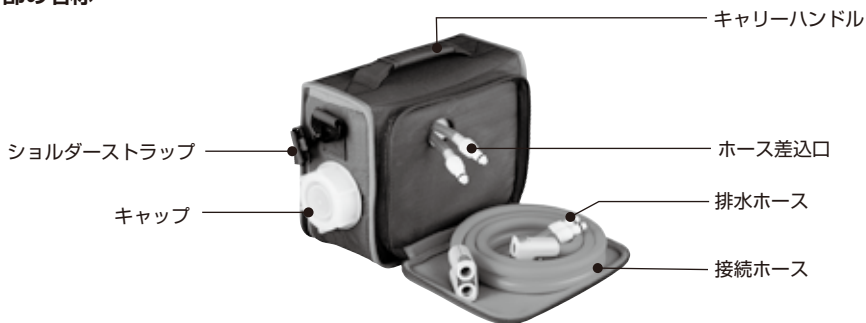
$$d=1.17\sqrt{P} \text{ (150kHz} \sim \text{80MHz)}$$

$$d=1.17\sqrt{P} \text{ (80MHz} \sim \text{800MHz)}$$

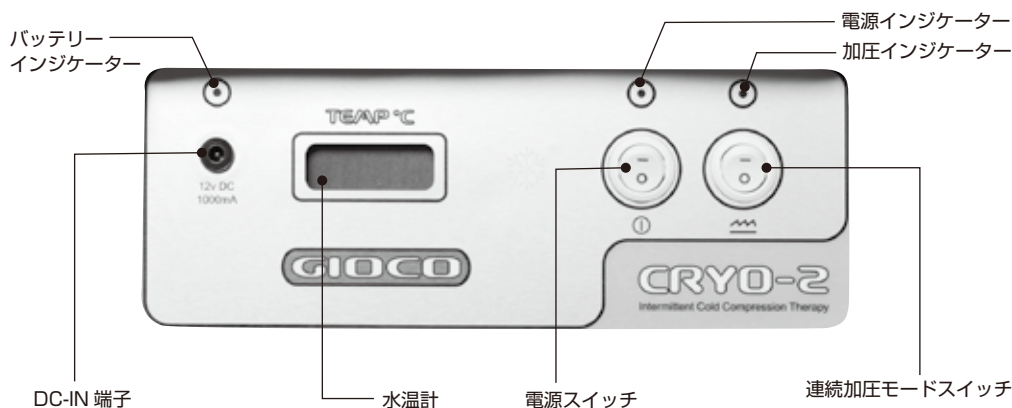
$$d=2.33\sqrt{P} \text{ (800MHz} \sim \text{2.5GHz)}$$

3. 本機の説明

◆各部の名称



◆操作パネル



◆準備

本製品使用についてのお願い

本製品は、GIOCO 社製シュアフローカフに加圧と冷却ができるように設計されています。本製品に対して一度に1つのシュアフローカフを接続することができます。シュアフローカフの取り付けにはそれぞれのパッケージに付属の「シュアフローカフ装着方法」をご参照ください。

※本製品は、冷水（水道水）以外での使用はしないでください。

※本製品には水温をコントロールする機能はありません。

【重要】 使用する際は、接続ホースとシュアフローカフを装着し、必ずタンクに水を入れてください

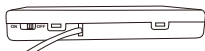
電池ボックスのご使用方法

ACアダプターの代わりに電池ボックスを使用することが可能です。

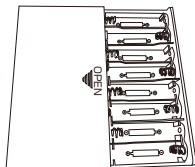
電池ボックスを使用する際はニッケル水素電池を 8 本ご用意ください。

※ACアダプターと電池ボックスを同時に使用することはできません。

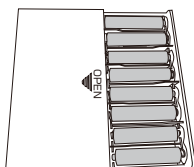
1. 電池ボックス側面の電源スイッチをOFFにする



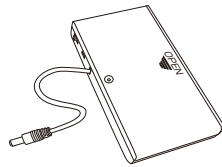
2. 電池ボックスのフタを開ける



3. 図のように単三乾電池を 8 本セットします



4. 電池ボックスのフタを閉めます



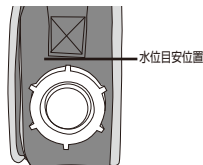
※電池のプラスマイナスを確認してセットしてください

◆操作マニュアル

- ⚠ 注意 本製品は使われる方の責任のもとで使用してください
- ⚠ 注意 本説明書をすべて読み、十分に理解してから使用してください
- ⚠ 注意 疾患をお持ちの方は、使用する前に「禁忌・禁止」「適応」を参照してください

[操作方法]

1. ポンプ・ユニットのキャップを反時計回りに回して外してください。中のタンクに氷と水を1：2の割合で満たしてください。冷蔵庫で冷やした水でも構いません。氷、水とも必ず水道水を使用してください。入れすぎに注意してください。目安として、冷水だけを入れる場合で約2リットルです。フタを入れて正立させたとき、フタを通して水位が見えない程度です。
※水を入れすぎると水温が思った以上上がったときに氷を追加できなくなる場合がありますので注意してください。
2. シュアフローカフに付属している「シュアフローカフ装着方法」をご覧ください、シュアフローカフを冷却・圧迫したい場所に取り付けます。シュアフローカフはしっかりと巻いてください。
※シュアフローカフをしっかりと巻かないと、シュアフローカフのパッド内に水がたくさんたまりすぎてポンプ・ユニット内の水が少なくなり、ポンプが空回りすることがあります。
3. ポンプ・ユニットが収納されているバッグのポケットから接続ホースを取り出し、シュアフローカフとポンプ・ユニットをつなぎます。コネクターがカチッという音がして所定の位置に固定されるまで押し込みます。接続ホースを外す際はコネクター両サイドのボタンを押して取り外します。
4. ACアダプターをポンプ・ユニットのDC-IN端子に接続し、電源プラグを壁のコンセントに差し込むとバッテリーインジケーターが緑色に点灯します。電池ボックスを使用する場合は、この段階でACアダプターの代わりにDC-IN端子に差し込んでください。電池ボックスの電源スイッチをONにするとはバッテリーインジケーターが緑色に点灯します。
※電源ボックスの電源スイッチをONにしてもバッテリーインジケーターが点灯しないときは、電池が消耗している可能性があります。新しい電池に交換するか、ACアダプターを使用してください。
5. シュアフローカフはポンプ・ユニットと同じ高さか、もしくは高い位置で使用してください。
6. 電源スイッチ①を「-」側に押し込んで動作をスタートします。その際、緑色の電源インジケーターが点灯し、同時にオレンジ色の加圧インジケーターも点灯し、シュアフローカフへ水の供給がはじまります。動作開始時間をメモに控えておいてください。
※動作時間はメディカルアドバイザーの指示に従って20分以内の使用にとどめてください。
7. LCDモニターには水温が表示されます(5~20℃)。動作中に希望の温度よりも高くなった場合は氷を加えてください。
※凍傷ややけどを防ぐため、モニター表示が6℃以上、19℃以下の範囲で使用してください。
8. 電源を入れてからシュアフローカフ内に水が充填されるまで約40秒かかります。その後、作動サイクルは、「20秒間運転(加圧)」し、「10秒間停止(減圧)」するプログラムです。「運転(加圧)」中はオレンジ色の加圧インジケーターが点灯し、「停止(減圧)」中は加圧インジケーターは消灯します。
9. 継続的な加圧が必要とされる場合は、連続加圧スイッチ②を「-」ポジションにしてください。その際、オレンジ色の加圧インジケーターが点灯します。
10. 電池ボックスは稼働時間に制限があります(ニッケル水素電池で約4時間)。稼働時間を延長したい場合、もしくはバッテリー切れになった場合は新しい電池に交換するか、ACアダプターを使用してください。
11. 決められた時間が経過しましたら、動作を止めてください。停止後シュアフローカフを患部から取り外し、シュアフローカフを上方に持ち上げ、軽くシュアフローカフ内部の水を絞り出してください。こうすることにより、シュアフローカフ内部の水がポンプユニットのタンクに戻ります。
※シュアフローカフ内部に水が残った状態で接続ホースを外すと、しずく漏れ防止弁の作用でシュアフローカフ内部の水を取り出すことができません。接続ホースを外す前に必ずポンプ・ユニットに水を戻してください。
※それでも接続ホースやシュアフローカフ内に残ってしまった水は下記13.の方法で排水してください。
※シュアフローカフ内部に水が残ったままですと、次回使用する際にポンプ・ユニットに水が逆流して水があふれることがありますので注意してください。
12. 接続ホースのコネクター両サイドのロック解除ボタンを押して接続ホースをポンプ・ユニットのホース差込口から外してください。
13. ポンプ・ユニットのホース差込口から外した接続ホースに排水ホースを接続することで、シュアフローカフや排水ホース内に残った水を排水することができます。
※排水ホースを接続する際は、必ずシンクや排水溝などの上でおこなってください。
※接続ホース内に残った水は右イラストを参考に、ホースをU字形に曲げて、1本のホースの前後に排水ホースを接続して排水してください。
※排水ホースが接続しにくい時は、2本のホースの間を少し裂いて接続してみてください。
14. ポンプ・ユニット内部の水を空にし、内部を自然乾燥させてください。
※ポンプ・ユニット内部のタンクは常に空にしておいてください。



4. お手入れとメンテナンス

本体について

- ・カビや細菌が発生するのを防ぐために、定期的に、アルコール系の除菌剤や抗菌剤を添加した水をタンク内に入れ、動作させて水を循環させてください。
- ・表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭いてください。
- ・万が一、コントロールパネルがひどく濡れた場合は、電源を切り、室内に置いて乾かしてください。

シュアフローカフについて

- ・ジャケットはナイロン製で簡単に外すことができ、スポンジと洗剤を使用して洗うことができます。
- ・ジャケットのアイロン掛けや乾燥機の使用は避けてください。また極度な乾燥は控えてください。

5. 適応

CRYO-2 システムは捻挫や筋挫傷、打撲を含むスポーツでの主な負傷に極めて効果的な治療方法です。また、整形外科手術後の症状の回復治療を補完します。

| 部 位 | 症 状 |
|-------------|---|
| 足首 | ○ 慢性、急性の捻挫、骨折、打撲、アキレス腱鞘炎、腱膜断裂、人工足関節置換術 等 |
| ふくらはぎ すね | ○ 慢性、急性の捻挫、骨折、脛骨過労性骨膜炎、腓骨骨折、打撲 等 |
| 膝 | ○ 慢性、急性の捻挫、骨折、打撲、靭帯再建術、膝関節置換術、骨折修復術、半月板切除術 等 |
| 手首 | ○ 慢性、急性の腱炎、手根管症候群、捻挫、打撲 等 |
| 肘 | ○ 慢性、急性の負傷、外側上顆炎、内側上顆炎、前腕骨折、打撲、人工肘関節置換術、 筋膜切開術 等 |
| 肩 | ○ 慢性、急性の腱炎、骨折、腱板修復術、肩峰形成術、人工肩関節置換術 等 |
| 背 / 股 / 肋骨 | ○ 慢性、急性の捻挫、骨折、打撲、人工股関節置換術、骨折修復術 等 |

6. 技術仕様

| | |
|------------|---|
| 電源アダプター | Input : AC100-240V Output : DC12V |
| 圧迫機器 | DC12V ポンプモータ 400mA 最大圧力 出力120 mm Hg |
| 治療時間(作動時間) | 1 回20分、1日最大1時間 |
| 水温表示範囲 | 5～20℃ (+/-5℃) |
| 動作時間 | 間欠動作時 加圧20秒→減圧10秒 連続動作時 継続加圧 |
| 移動 / 保管 | 使用后、移動前は必ず本体を空にしてください。保管温度は0℃以下にはしないでください。0℃以下にすると本体が壊れる可能性があります。 |
| クラス分類 | クラスⅠ 機器 DC12V 短期間操作 (短時間使用) 一般機器 |
| 外形サイズ | 300W×160D×220H(mm) |
| 質量 | 約 2kg (ホース類含む) |

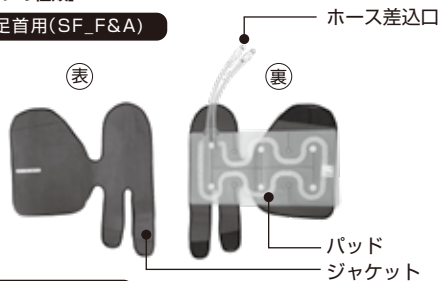
7. CRYO-2 バリエーション (追加購入可能) およびオプション (別売)

シユアフローカフ

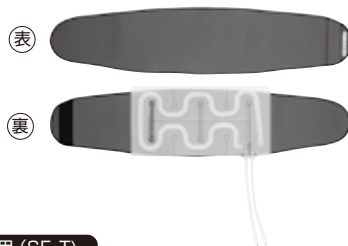
特許取得済みのシユアフローカフは、関節部位での使用でも水の流れを確保できる構造です。

[カフの種類]

足首用(SF_F&A)



ふくらはぎ用(SF_C)



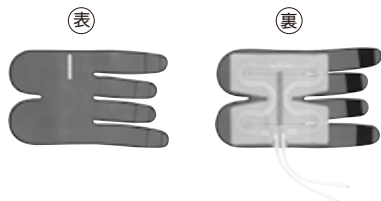
膝用(SF_K)



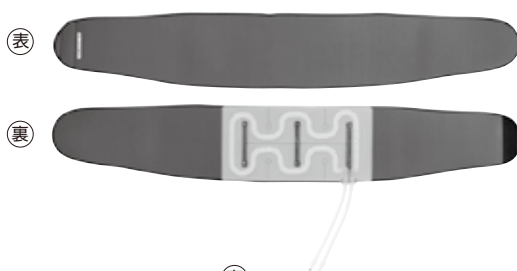
ふともも用(SF_T)



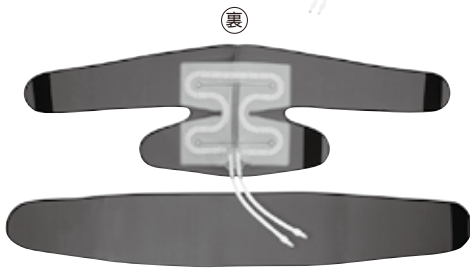
手・手首・肘用(SF_A)



背中・腰・臀部用(SF_B)



肩用(SF_SH)



CRYO-2 サーマルプローベ (CPB)

すぐれた熱伝達特性を持つ銅から削り出した CRYO-2 サーマルプローベをお使いになることで、局部的に冷却療法を行うことができます。



8. よくある質問

- Q. アルカリ乾電池は使用できますか
 A. ニッケル水素電池に比べ動作時間が短くなるのとポンプの性能が若干落ちますが、アルカリ乾電池も使用可能です。
- Q. シュアフローカフを指定部位以外の患部に使用することはできますか
 A. たとえば手・手首・肘用のシュアフローカフをお子さんの膝用として使用していただいても問題ありません。
- Q. シュアフローカフを複数名で使い回しできますか
 A. おすすめはしませんが、複数名で使う場合は衣服の上から装着するなどして、相互汚染を防いでください。
- Q. ポンプ・ユニットのタンクに入れる除菌剤や抗菌剤はどのようなものが良いですか
 A. 加湿器用のアルコール系除菌剤がよいでしょう。
- Q. 使用できる年齢に制限はありますか
 A. とくに制限はありませんが、医師やメディカルアドバイザーの指示に従ってご使用ください。またお子さんがご使用になる場合は必ず大人が付き添ってください。

9. 故障かなと思ったら

| | |
|--|---|
| バッテリーインジケータが点灯しない | ACアダプターや電池ボックスが取り付けられていない →ACアダプターをDC-IN端子に接続し、コンセントに接続してください。あるいは電池ボックスをDC-IN端子に接続し、電池ボックスのスイッチをONにしてください。 |
| | 電池ボックスの電源がOFFになっている →電池ボックスの電源スイッチをONにしてください。 |
| | 電池ボックスに電池が入っていないか消耗している →電池ボックスに電池を入れてDC-IN端子に接続し、電池ボックスの電源スイッチをONにしてください。あるいは新しい電池に交換してDC-IN端子に接続し、電池ボックスの電源スイッチをONにしてください。 |
| 本体の電源が入らない | ACアダプターや電池ボックスが取り付けられていない →ACアダプターをDC-IN端子に接続し、コンセントに接続してください。あるいは電池ボックスをDC-IN端子に接続し、電池ボックスのスイッチをONにしてください。 |
| バッテリーインジケータは点灯しているのに電源が入らない | 不具合の可能性があります →販売店あるいは当社修理ご相談窓口にご相談ください。 |
| 患部が冷たくならない、圧力がかからない、シュアフローカフ内に水が供給されない | タンク内に適切な量の水が入っていない →タンク内には2リットル程度の水が必要です。適切な量の水を入れてください。 |
| | ポンプ・ユニットが横倒しあるいは傾いている →ポンプに水が供給されず空回りしていることが考えられます。ポンプ・ユニットを正立させてください。 |
| | ホースが折れ曲がっている →接続ホースやシュアフローカフから出ているホースの折れ曲りをなくしてください。 |

◆保証とアフターサービス

製品に不具合がございました場合は、不具合内容、ご購入店舗およびシリアル番号を、下記問合せ先までご連絡ください。
 ご注文番号がある場合は、ご注文番号もお知らせください。

お問合せ先：H&Aトレーニング お客様相談窓口

Eメール：support@athletic.co.jp

TEL：03-5615-9500

URL：https://www.athletic.co.jp/support/

保証書

- ① 保証書をご提示又は送付いただく事で、無料修理又は同等の製品と交換させていただきます。
- ② この保証書は CRYO-2 ポンプ・ユニットおよび AC アダプターの保証で、ホース類、電池ボックス、シュアフローカフおよびサーマルブローベはこの保証の対象外となります。
- ③ 保証（修理）の際には納品書（注文番号がわかるもの）が必要となりますので、保証書と一緒に保管しておいてください。
- ④ 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- ⑤ 保証期間内でも次の場合には保証の対象外となります。
 - ※使用上の誤り、改造や不当な修理による故障または損傷
 - ※お買い上げ後の輸送、落下などによる故障または損傷
 - ※不適当な保管、保存による故障または損傷
 - ※乾電池や充電池の液漏れによる故障または損傷
 - ※火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、煙害、などによる故障または損傷
 - ※本書でご提示がない場合
 - ※その他、当社の責任とみられない故障または損傷

| | |
|--------|-------------|
| 保証期間 | お買い上げ日より1年間 |
| 商品名 | CRYO-2 |
| シリアル番号 | |
| 販売店名 | |
| お買い上げ日 | 年 月 日 |

H&A トレーディング株式会社

東京都文京区本郷 3-22-2-102

【製造元】

GIOCO Ltd.

310-312 Dallow Rd, Luton LU1 1TD, UK

【輸入元】

株式会社フジフレックス

奈良県生駒市北田原町 1067-25

【販売元】

H&A トレーディング株式会社

東京都文京区本郷 3-22-2-102

TEL:03-5615-9500

